

お子さまと一緒に過ごせる時間は  
あと何時間でしょうか。

あなたはお子さまに  
どのような教育、どのような未来を  
プレゼントしたいですか？

まずはじめにあなたにお伝えしたいこと。

それはコウルは学習塾ではないということです。



# コウルの教育は学習塾と何が違うのでしょうか。

	学習塾	コウル
目的	受験合格、成績向上、 勉強の仕方を教える	人間力・創造力を育てる、自己の可能性を引き出す、行動の変化
主題	一定の知識、情報、 あるべき論、逆算管理	自分自身
方法	レクチャー、教わる、訓練	自己発見、自己実現を目指す、自己表現、体系的な体験学習、つかみとる
学習領域	頭の学習 記憶 分析 知る	体験する 感じ取る 分かる
求める対象	受動的・能動的な生徒	能動的な生徒とご家族

勉強第一

勉強は自己表現ツールのひとつ

**コウルの講義の中身は人それぞれで違います。  
みんなの「とある日」を覗いてみよう。**

Hちゃん(進学校在学中)/学校の数学の授業についていけない。問題の解説を読んでもよくわからない！

とある日：対話▶文系の先生が言葉でしっかり教える、伝わる数学

Yちゃん(中学生)/不登校中。元気な自分を取り戻したい。

とある日：対話▶カウンセリング▶心身を元気に！ナイトウォーキング▶今の自分を絵で表現

Nちゃん(中学生)/勉強が大嫌い。私にはどんなことが向いているのか可能性を確かめたい！

とある日：対話▶苦手な数学の勉強▶お料理が興味あり：ホットケーキ作り▶初めて体験！動画編集

Sちゃん(進学校在学中)/大学受験に向けて国語と数学の受験対策をしたい。

とある日：対話▶みっちり現代文問題演習▶ゆっくり文系数学入試問題演習

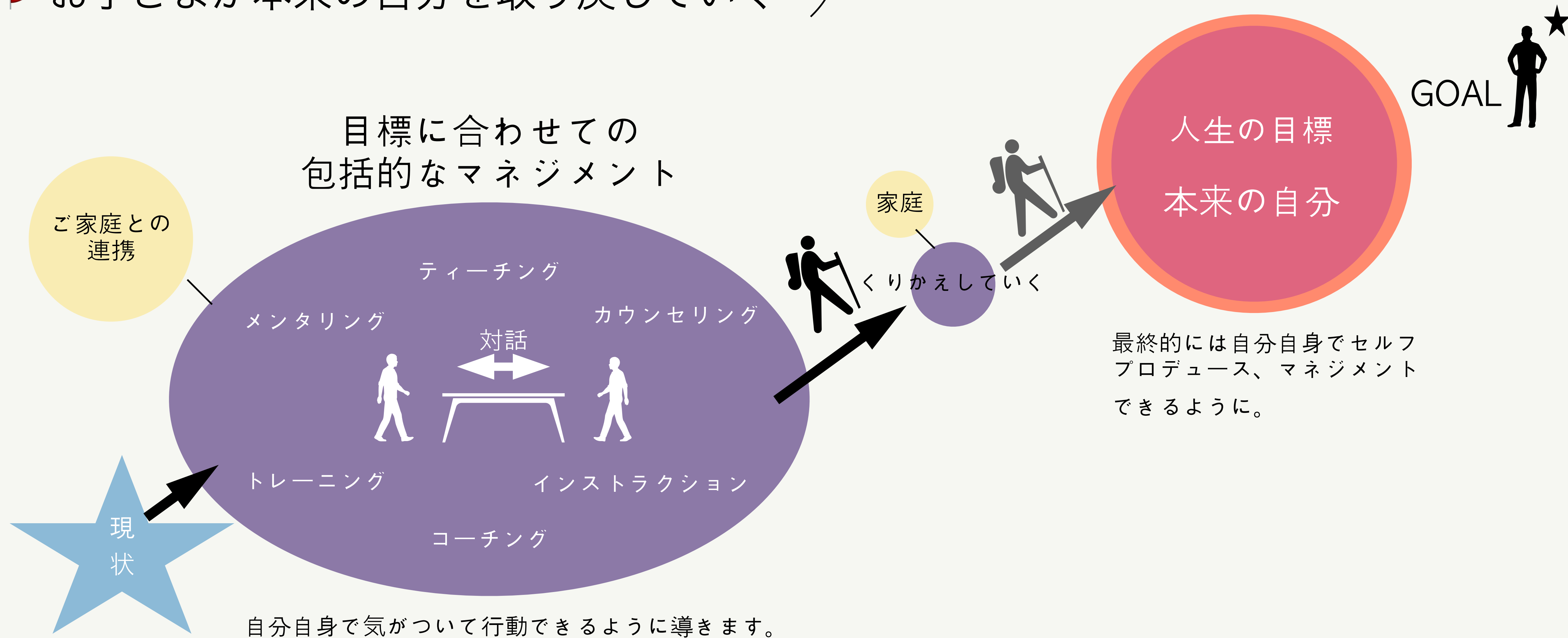
Oくん/英語と人との関わりが苦手。感情を言葉でちゃんと表現できるようになりたい。

とある日：対話▶英語のテスト対策▶本を読んで、感じたことを自分の言葉で表現する。▶面接トレーニング

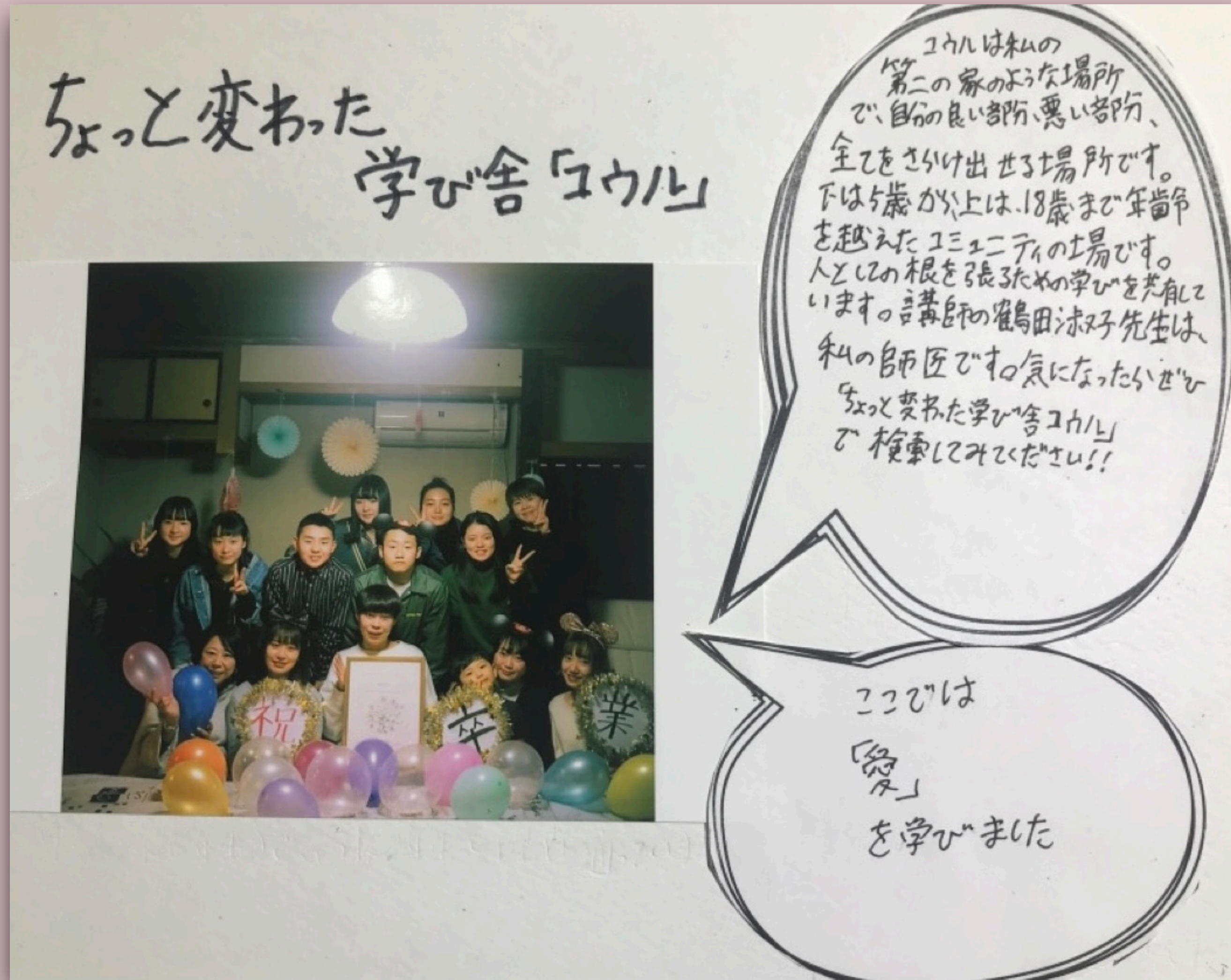
# お子さまにとってのコウルの役割とは？

- ▶ お子さまが人生での目標を達成する
- ▶ お子さまが本来の自分を取り戻していく

ための包括的なマネジメントを行います。



ここで、コウル第6期生の川俣くんが大学入学の入試の際に、入試課題として提出したフォトブックにてコウルを紹介してくれたページを覗いてみましょう。



※川俣くんらしさが溢れ出る写真を撮影するために、鶴田先生がカメラマンを担当。

「コウルは第二の家のような場所であり、  
年齢を超えたコミュニティである。」



コウルはお子さまにとって安心できる場所。

そしてお子さまが主体的に生き、  
ご家族の皆様と共に”より”幸せに  
生きていただけるようにと  
様々な面で働きかけていく  
協働教育の場なのです。

## Q 独自の教育ステップ「コウルアプローチ」とは？

- ▶ 社会の土台である家庭を更にほっと安心できる場所にしていきます。
- ▶ お子さまの内と外の均整を取り戻し、他人の基準ではなく、自分のものさしを持って時代を闊歩していく。揺るぎない人生の土台を築いていくための学びプログラムがこども版コウルアプローチです。
- ▶ お母さんのこれを振り返り、現状を確かめます。大切なお子さまの未来を見据えながら、お子さまとの温かな関わりを構築していくための学びプログラムがおとな版コウルアプローチです。こちらはこども版コウルアプローチの土台を成すものとなります。お子さまが入舎する場合には、お母さまからもご受講いただくことをお勧め致します。

# 世界に羽ばたく人財を育てるために

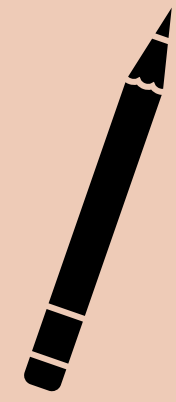
## 大学受験を控えた高3生のコウルメイツ、勉強と同時並行でどんなことをしているのか？

ex 「自分はどんな人間なのか。」を自問自答する自分堀り。同時に自分の考えを整理する方法も実践的に学ぶ。

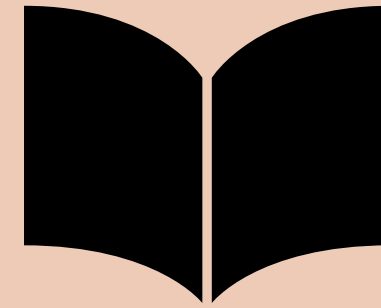
コウル第6期生 川俣椋嵩くんの場合



【必要なもの】

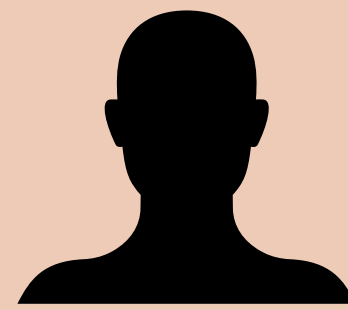


ペン



ノート

×

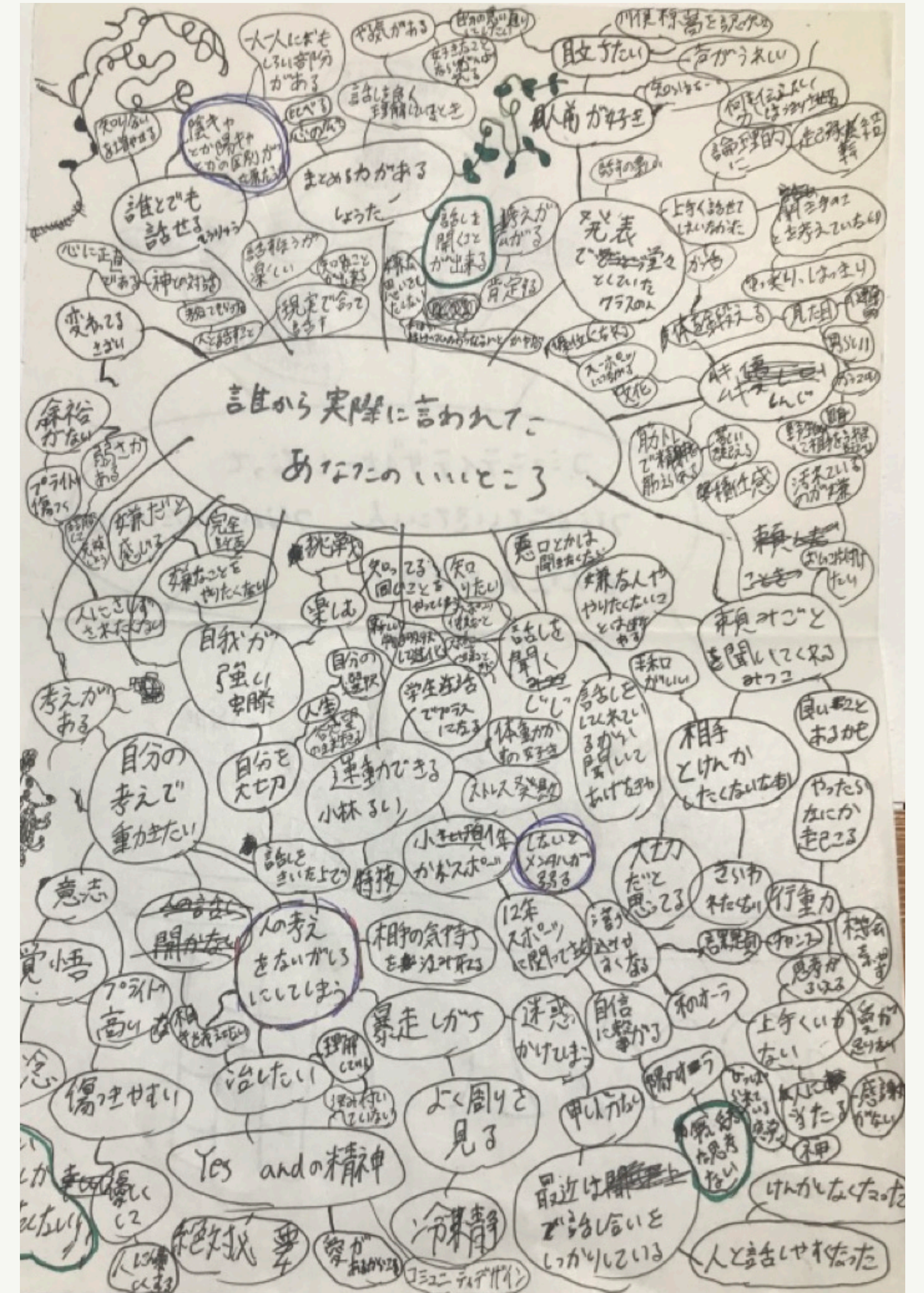


自分の頭と心

=



鶴田先生と  
コウルメイツ

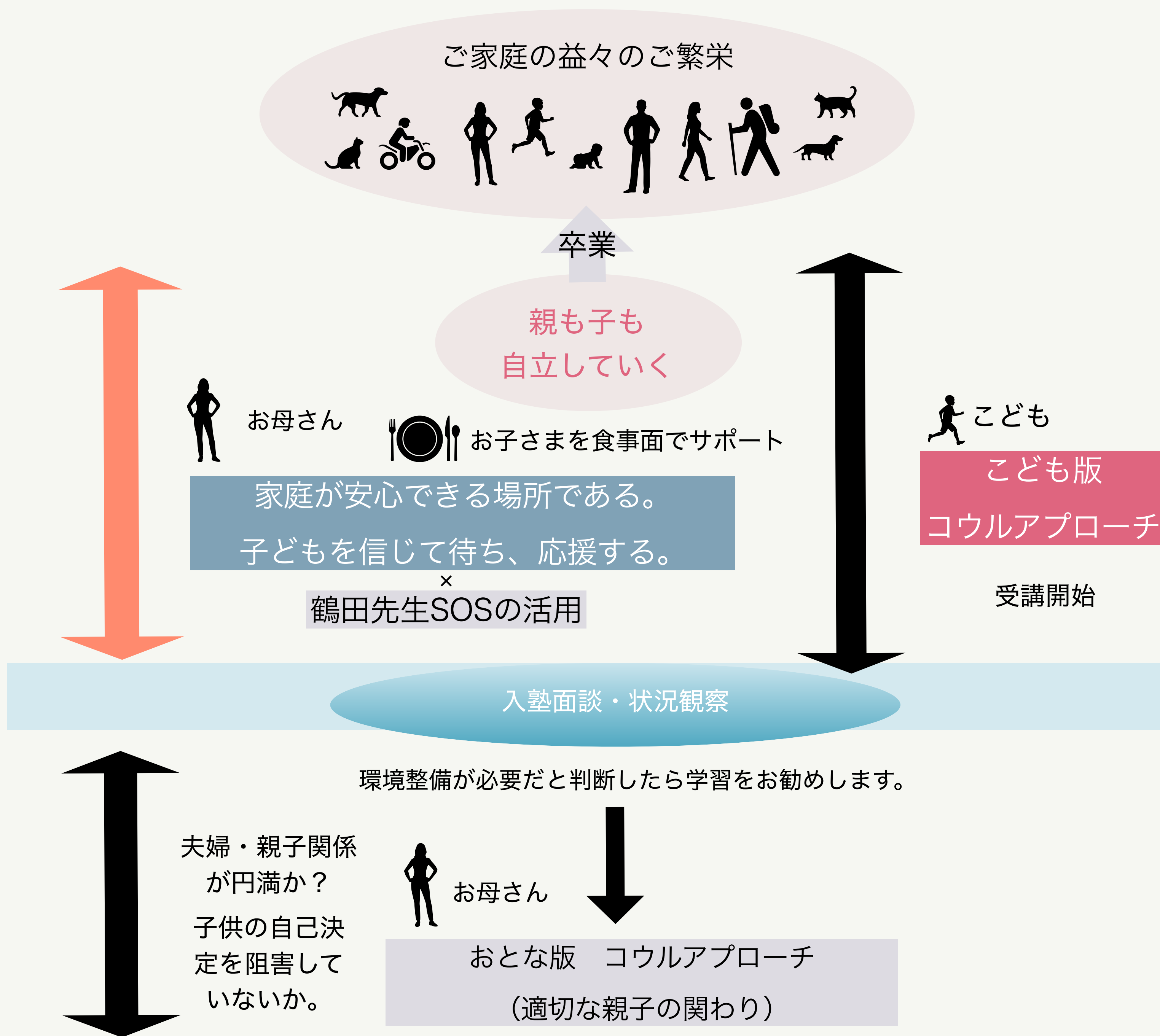




# コウルアプローチを

## 「わかりやすく」ピラミッド

Q お子さま、お母さまはこのピラミッドで  
どの段階にいらっしゃいますか。



自己表現のひとつである「勉強」面で自信をつけるためのアプローチをのぞいてみましょう👁️

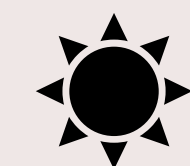
勉強編

## コウルアプローチ



=こども

豊かな土壌 = 家庭

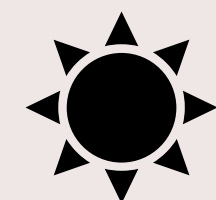


=コウル

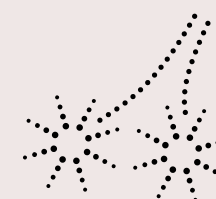
### STEP 1

「私、できる！」

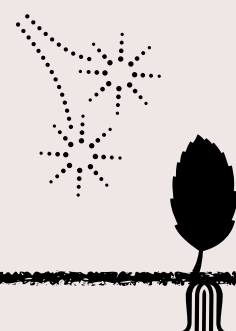
お子さま



褒め言葉のシャワー



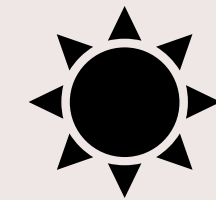
背中を押す



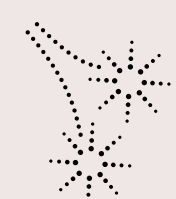
### STEP 2

「私、家でも一人でできる！」

励まし



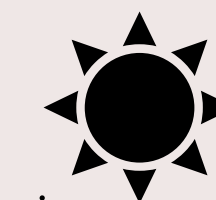
気づきに導く



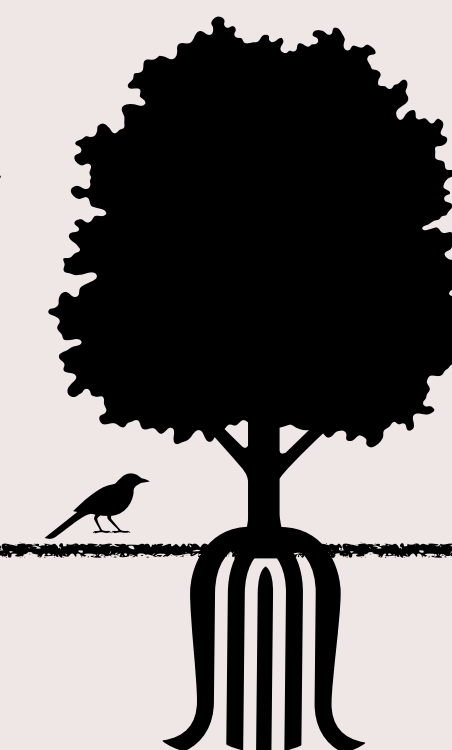
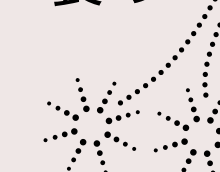
### STEP 3

「私、テストも楽しい！」

褒め



励まし



お母さま

大人版

コウルアプローチ

家が子どもにとって安心できる場所であれば、お子さまの人間としての根もしっかりしていく。親はこども（=幼かった頃の自分）が言われてうれしい温かい言葉をかける。喝を入れる場合は、子どもの状態をよく見極めて実行する。

こども版

# コウルアプローチ

受講コースは6ヶ月間、講義・コウルステップの一部受講後にお子さまにとって最良のコースを講師がご提案いたします。以下はコウルのお月謝一覧です。

入塾金 16,500円

❖ 小学生 1 講義/60分～

学習対応科目：5教科

年間45回 11,000円～

❖ 中学生/高校生 1 講義/120分～

学習対応科目：5教科

中学生

年間45回 26,400円～

学習対応科目：

高校生

主要3教科、小論文

年間45回 30,800円～

姉妹兄弟でのペア指導の場合は、上記金額の3割引の金額×人数のお月謝となります。

4月から3月までで各曜日が年間45回の授業となるように予め休講日が設定されております。

お子さまからは教科学習・座学のほか、これまでのお父さん、お母さんとも関わりについても振り返っていきます。

上記お月謝に含まれる指導はお子さまを対象にした指導料金です。お子さまの現状報告、指導内容に関する相談連絡以外のご相談全般、改善に向けて実施される面談やお電話、LINEなどでのやりとりをご希望される場合は、「鶴田先生SOS」をご利用ください。

大人版

# コウルアプローチ

受講料 55,000円(税込)

目的：①お子さまとの関わり、ご自身の生育歴を振り返る（行動の核を探る）  
②思春期における親子の信頼関係の再構築していく

こどもは一人ずつ、異なる特性を持っています。しかしながら動物として本能的に求めているものは、どのお子さまも一緒です。お母さまから「信じてもらいたい」「褒めてもらいたい」「ちゃんと見てもらいたい」と思っています。

お子さまが思春期に入ると、お母さまとの関わりがグラグラし始めます。これは一生懸命なお母さんであればあるほど、揺れの規模が上がっていってしまうものです。そして様々な事柄が起こり始めます。そこに受験が重なると、さあとても大変です。

私は「お母さんは一家の要だ。」と私は常々思っています。お子さまにご家庭の中で、学校の中で、たとえどんなことが起ころうとも、「うちの子は大丈夫！」と慌てずに、お子さまを温かく見守れるお母さんがそばにいたら、お子さまはとても安心します。

こども版コウルアプローチは、おとな版コウルアプローチがあるからこそ生きていくプログラムです。お子さまの状況を考えながら、お子さまが自ら動き出すための準備を整えていくためには、社会の土台となる家庭、つまりは親の在り方を見つめ直すことが第一歩です。親御さまのこれまでの子育ては、ご自身の生育歴、養育歴や家族との関わりが強く影響していますので、そこから振り返っていく。つまりは、ご自身でご自分を見つめ直す作業から入ってまいります。大切なお子さまの将来のことを見据えながら、今できることを一緒に考え、実践してまいります。

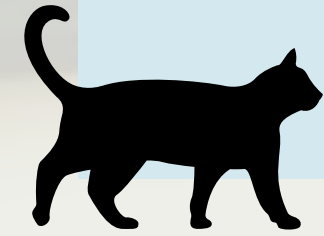
※進行内容やプログラムを事前に説明することができません。コウル独自のプログラム方式をとるために、ステップの内容が事前に把握できると、気づきが怒らなくなり学習効果が半減されてしまうからです。内容に関する疑問がございました場合には、入塾面談の時に尋ねてください。

お母さまがこちらをご受講され、実践されることで、子供に対しての構えがどしっとしていきます。お母さまの鏡がお子さまですので、お母さまがどしっとしていくことで、お子さまの心の平安に繋がりますので是非ご受講ください。



## お子さまが入舎後の親御さまのご相談

鶴田先生SOS / 30分~ 1,250円~



or



or



①お子さまに関する現状報告 ②指導出欠連絡/指導に関する相談

上記2つ以外のご相談全般（家庭内部の問題に関するご相談、現状打破のための作戦会議など）をご希望される場合には、こちらをご利用ください。 ※これらは業務時間外での対応となるため、有料となります。

お母さんがおとな版コウルアプローチをご受講されると、お子さまやご家庭に関する諸問題に対して、ご自身で解決に向けて動くことができるようになるため、こちらを利用する機会が減ります。是非一緒に学びましょう。